

一般財団法人  
ゆ■め▲い●く

# 概要

法人名	一般財団法人ゆめいく
設立年月日	令和6年11月22日
所在地	東京都日本橋浜町2-60-3
目的	子供支援事業
代表理事	天野 将典
理事	水端 健 / 上田 博和 / 吉田 秀彦
評議員	木村 祐一 / 金澤 秀昇 / 富永 朝樹
監事	高橋 創
顧問弁護士	加藤 博太郎

# 子どもたちが未来をひらく力を育てるゆめいく～You make～

「ゆめいく」という名前には、「夢を育む」という意味に加え、「You make」という響きが込められています。

「You make」は、その後続く言葉によってさまざまな意味を生み出します。

例えば、「You make one's day」ならば「あなたが最高の1日をつくる」という意味になるように、この名前には、子どもたちに自ら豊かな人生を築く力を与えたいという思いが込められています。

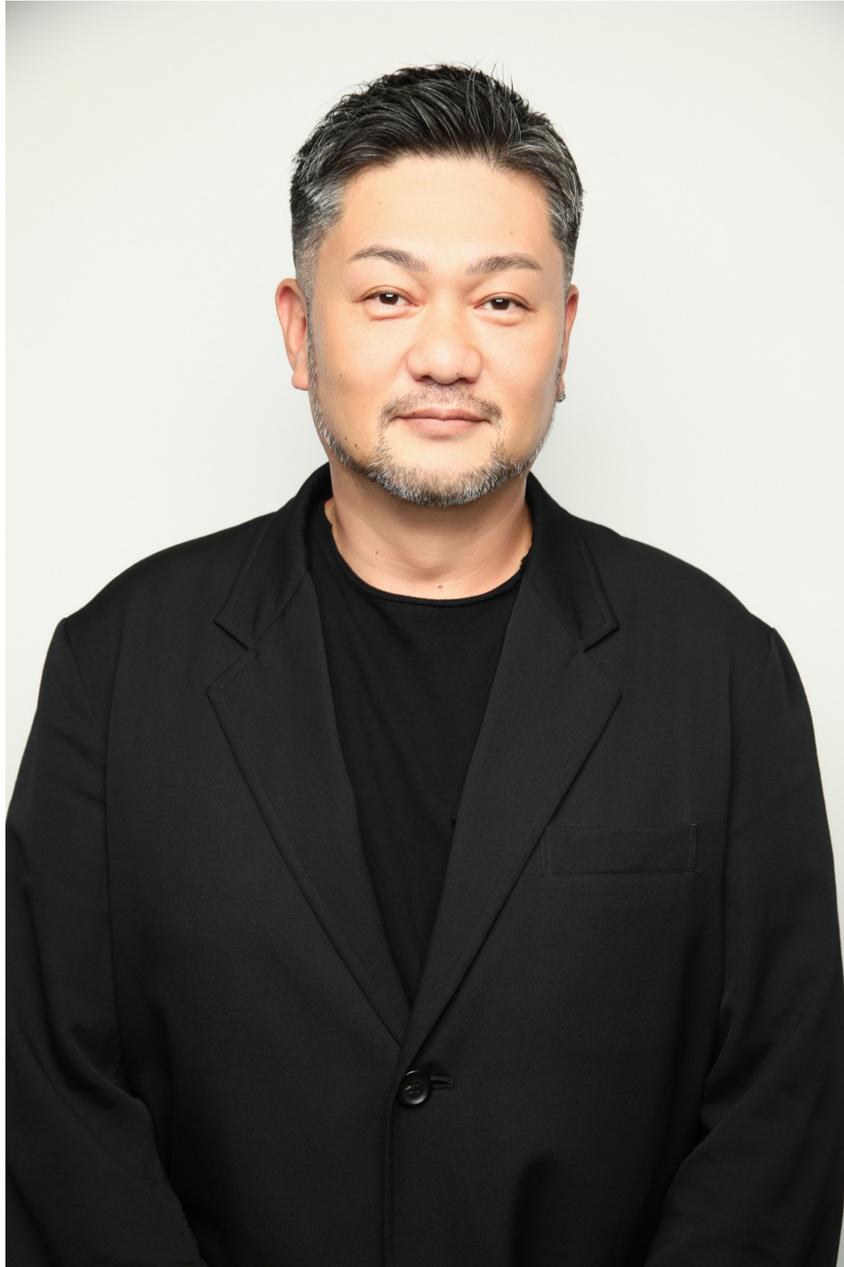
子どもたちは無限の可能性を秘めた存在です。その溢れるエネルギーを、自分の人生を尊び、価値ある選択肢に使ってほしい。そして、すべての子どもたちにその選択肢が平等にあることを知ってほしいと願っています。

日本の未来を担う子どもたち、そして若者たちに対して、私たち大人ができることは何か。それは、彼らが自分の力で人生を切り拓き、社会で活躍できるように、視野を広げ、支援活動をさらに大きく展開していくことです。



一般財団法人  
ゆめいく

# 天野将典のプロフィール 一般財団法人ゆめいく 代表理事 / 社会活動家



天野将典は、20代の頃より住宅ローン破綻の背後にある社会問題や家庭問題の解決支援に取り組み、多くの課題に直面しながら経験を積んできました。

その後、20年続く公益社団法人の代表理事に就任。当初は大人からの相談を中心に活動していましたが、やがて子どもたちの生きづらさに着目し、「ト一横キッズ」や大宮界限、グリ下、警固界限など、全国に広がる【界限民】をはじめとする若者たちの家出、OD（オーバードーズ）、自殺、人間関係など、さまざまな困難に寄り添い続けてきました。

子どもたちが直面する問題の本質を常に考え、彼らの声に耳を傾け、その解決に取り組んできました。

そして、子どもたちへの支援活動をより広い視点と範囲で展開するため、新たに一般財団法人ゆめいく（You make）を設立。この取り組みを通じて、子どもたち一人ひとりが自らの未来を切り拓き、豊かな人生を築けるよう支援を続けています。

**20年続く公益社団法人 代表理事に就任。**

## ・2023年

引きこもりの更生について、親と子を一定期間離し、インフラを止めることで自立を促す方法を提案。

若者たちが集まる「ト一横」の危険性を指摘し、社会問題としての認識を広める活動を行った。

新宿区自殺総合対策会議委員に委嘱。

## ・2024年

新宿区自殺総合対策会議委員/新宿区自殺総合対策会議若者・女性支援検討部会の委員に委嘱。

日本駆け込み寺の代表理事を退任。

国連人権サミットにてアジア・オセアニア人権大使に任命

一般財団法人ゆめいくを立ち上げ。代表理事に就任し、子どもたちの支援活動を本格的に推進。

# 【ゆめいく】の目的と意義

## ビジョン(vision)

すべての子どもたちが、自らの可能性を信じ、夢や目標を持ち、未来を切り拓ける社会を実現する。

私たちは、社会的に孤立しやすい子どもや若者が、教育や社会経験を通じて自己肯定感を育み、自立して生きる力を身につけられる環境を提供します。地域社会と連携し、子どもたちが安心して成長できる社会の基盤を築きます。

## ミッション (Mission)

ゆめいくは、以下の6つの柱を軸に、子どもたちの成長と自立を支援します。

- ①**教育支援の提供**：学習支援や特別プログラムを通じて、すべての子どもが自らの能力を発揮できる機会を創出する。
- ②**自己成長の促進**：セミナーやワークショップを実施し、子どもたちが自己肯定感を高め、自分の可能性に気づくきっかけを提供する。
- ③**コミュニティの構築**：地域社会と連携し、子どもたちが安心して成長できる環境を整え、支援の輪を広げる。
- ④**保護者・教育者への支援**：子どもたちの健全な成長を支えるため、保護者や教育者への情報提供やサポートを行い、共に育てる環境を作る。
- ⑤**未来のリーダー育成**：社会の課題に敏感になり、問題解決能力を養う機会を提供し、子どもたちが地域社会や国の未来を担うリーダーへと成長できるよう支援する。
- ⑥**意識改革の推進**：社会全体に向けて、子どもたちの成長や可能性の重要性を広く発信し、より良い未来を築くための意識改革を進める。

## ターゲット(Target)

ゆめいくの支援対象は、すべての子どもたちと若者、特に社会的に孤立しやすい状況にある人々です。

経済的・家庭的困難を抱える子どもたち/学習機会が限られ、適切な支援が受けられない子どもたち/社会的孤立状態にある若者/家出、OD（オーバードーズ/自傷行為、精神的困難を抱える若者/保護者・教育者/子どもたちを支えるための情報やサポートを必要としている親や教育関係者/企業・地域コミュニティ/社会貢献活動を通じて、子どもたちを支援し、共に成長できる企業や団体

# ゆめいくが果たす6つの役割

## 教育支援の提供

子どもたちが自らの能力を発揮できるように、**学習支援や特別プログラムを提供。**  
塾に通えない子どもたちや、  
学びたくても環境が整わない子どもたちに、  
大学生ボランティアなどを通じた  
学習の機会を届けています。

## 意識改革の推進

子どもたちの成長や可能性の  
重要性を社会全体に広く伝え、  
「子どもたちを支える文化」を  
根付かせるための意識改革を進めています。

## 未来のリーダー育成

社会課題への感度を高め、  
問題解決能力を養う機会を子どもたちに提供。  
イベント企画や地域貢献活動を通じて、  
将来のリーダーとなる素養を育成しています。

## 自己成長の促進

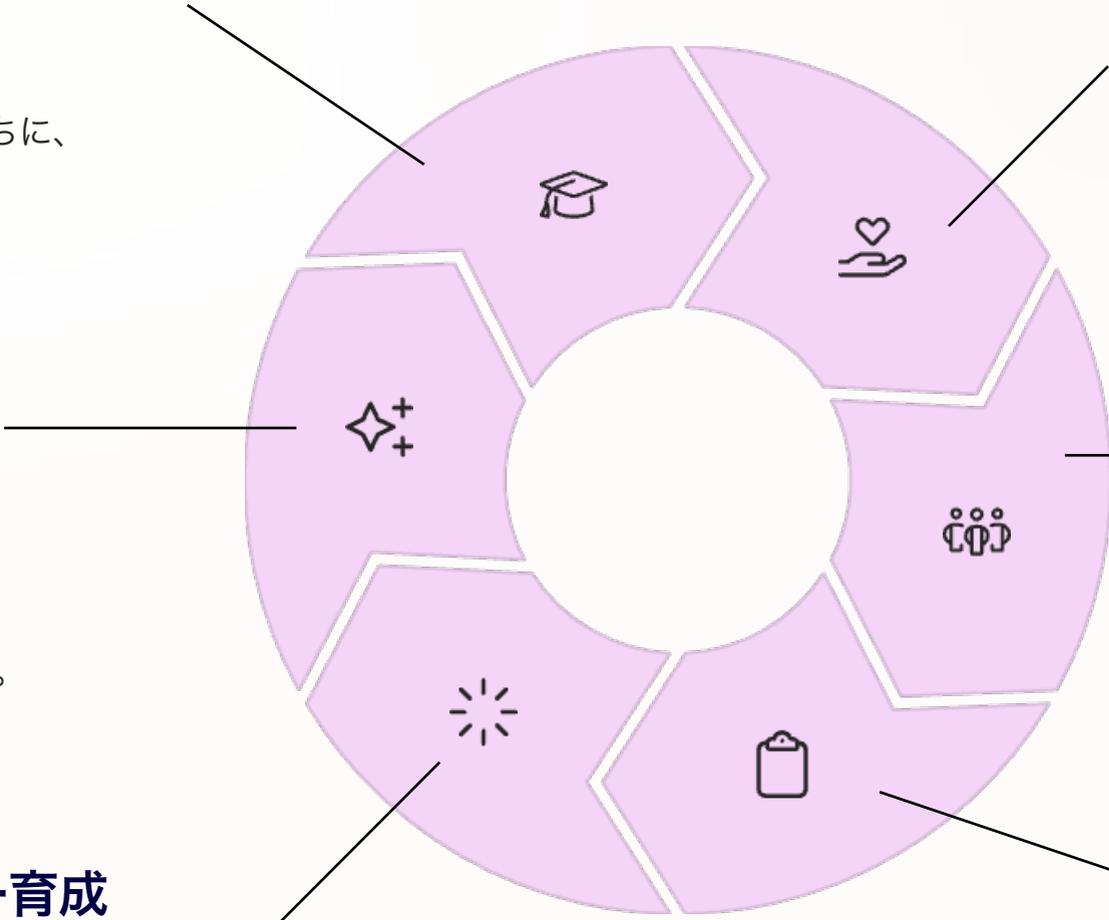
自己肯定感を高め、自分の可能性に気づくためのセミナーや  
ワークショップを実施。「魂教育」を通して、伝統や文化、  
礼節を学び、自信と誇りを持てるよう支援しています。

## コミュニティの構築

地域社会と連携し、孤立した子どもたちが  
安心して成長できる環境づくり。  
シェルター事業や地域交流イベントを通じて、  
支え合うコミュニティを広げます。

## 保護者・教育者への支援

「親塾」などを通じ、保護者や教育者に向けた情報提供と  
サポートを行っています。  
親子関係や教育方法について気づきを与え、  
家庭環境改善にも貢献しています。



# ゆめいくの事業内容



## シェルター事業

埼玉県熊谷市・千葉県香取市・を東京都の3拠点に、家庭や社会で居場所を失った子どもたちに最長2ヶ月間の避難場所を提供。卒業後は就労機会を設け、社会復帰を支援します。



## 障がい児アート事業「ONEART」

障がいのある子どもたちがプロアーティストと共に作品を制作。全国で展覧会を開催し、作品レンタル収益を奨学金として還元しています。



## 第一次産業体験事業

農業を通じて「働くこと」「自然の恵み」「食の大切さ」を学ぶ機会を提供。次世代を担う子どもたちに新しい選択肢を与える取り組みです。



## 教育支援事業

・東大生による学習支援プログラムの提供・武道や芸術、音楽の第一人者と連携した「魂教育」の推進



## 親塾 (保護者支援事業)

親が若者と直接話をする場を設け、親子関係を根本から改善する機会を提供。



## イベント/被災地支援

子どもたち主体で企画・運営するイベントを通じて、責任感や協力の大切さを学ばせます。同時に「フードパントリー」活動を通じて地域支援も行います。



## 相談事業

対面・電話・オンライン相談窓口を整備。子ども・若者・保護者が安心して相談できる環境を提供しています。

## 事業内容の紹介

# 1. 子供たちのシェルター施設

社会的に困難な状況にある子どもたちや若者の一時避難場所として、安心して過ごせる居場所としてシェルター施設を提供します。

拠点	埼玉県熊谷市・千葉県香取市・東京都の3箇所をもとに展開予定
対象者	社会的に困難な状況にある子どもたちや若者
滞在期間	最長で2ヶ月間
卒業支援	就労機会を提供することで、社会復帰を支援

シェルター内のスタッフ配置や運営体制を整え、東横キッズプロジェクトとは異なる独自の事業として運営しています。

国の予算枠から1団体あたり最大4,000万円の支援を受けられる可能性もありますが、これまで助成金を活用してきた経験から、支援内容に制限があることや支援の幅が限られる課題を感じてきました。そのため、私たちは寄付による支援金をもとに、より柔軟で持続可能な子どもたちへの支援体制を構築していきます。この資金を活用し、シェルター施設の運営や就労支援を含む包括的なサポートを行っています。

ゆめいくは、このシェルター事業を通じて、子どもたちが新たな一歩を踏み出し、自立に向かって進む力を提供していきます。



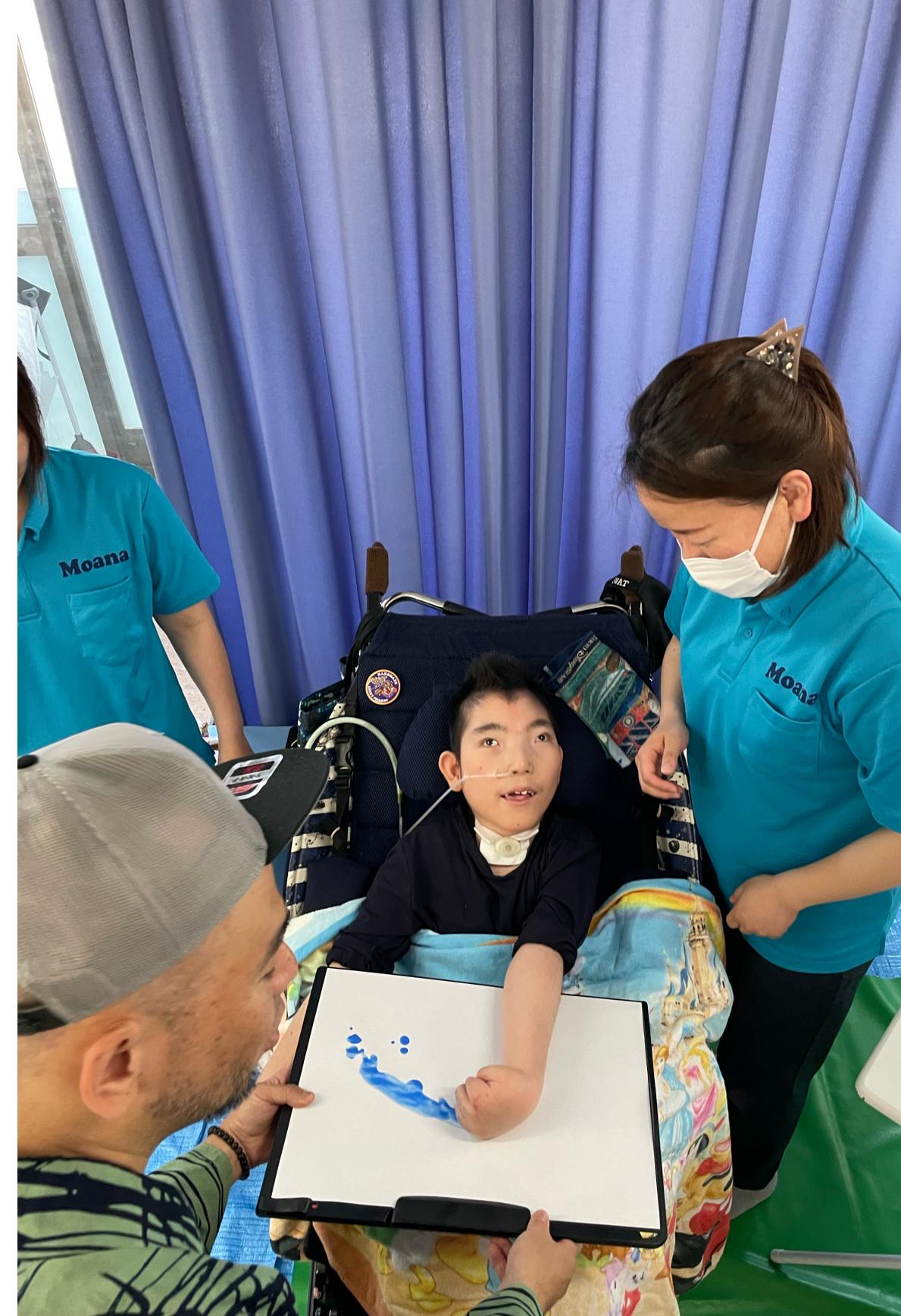
## 事業内容の紹介

# 2.障がい児アート

子どもたちの個性や情熱をアートで表現する取り組みです。プロジェクト名は「ONEART」。ONEARTは「つながるアート」「支え合うアート」をコンセプトに、プロのアーティストがサポートしながら、子どもたちの描いた絵を作品として完成させます。「アートに障がいはない」をテーマに、個々の個性を尊重し、新しい可能性の発掘を目指しています。

この活動の一環として、障がいを持つ子どもたちがアーティストと共に制作したアート作品を、日本全国で開催される「ONEART展覧会」で発表し、多くの人々に鑑賞していただく機会を提供しています。さらに、展覧会で展示された作品は個人や法人にレンタルされ、そのレンタル料の一部が奨学金として子どもたちのご家族に届けられます。これにより、障がい児の新たな社会参加の形を創出し、社会からの注目を集めています。

障がい児アート事業は、子どもたちの個性を尊重しながら新たな表現の場を広げ、社会的なつながりを築く活動として大きな意義を持っています。



事業内容の紹介

## 3. 第一次産業体験

子どもたちに自然と触れ合い、土に親しむ機会を提供するため、農業をはじめとする第一次産業事業を展開しています。千葉県香取市を拠点に、今後さらに活動を広げていく予定です。

本事業では、食料問題の解決や国土保全、自給率の向上を目的とし、未来を担う子どもたちと第一次産業をつなげることを重視しています。2024年11月に第1回を開催し、苗植え・収穫・草取り・出荷といった工程を年4回以上のペースで継続的に実施。こうした体験を通じて、子どもたちの成長を促しています。

次世代を担う若者たちに新たな選択肢を提示することを目指し、彼らが日本の第一次産業の未来を支える力となることを目指します。



## 事業内容の紹介

# 4.教育事業

社会や家庭の事情により学びの機会が制限されている子どもたちを支援するため、教育事業を展開しています。主な取り組みとして、東京大学のキャンパスで、東大生が勉強を教える学習支援プログラムを実施しています。このプログラムでは、塾に通えない子どもたちや家庭の事情で学びたくても学べない子どもたちに、学びの場を提供しています。（右画像参照）

さらに、武道や芸術、音楽の第一人者（吉田秀彦氏、三崎和雄氏、長渕剛氏など）と連携し、日本の精神や文化を子どもたちに伝える「魂教育」を推進しています。この取り組みにより、現代の子どもたちが日本の伝統的価値観を学び、自己肯定感を育む機会を提供しています。

この教育事業を通じて、子どもたちが自分自身を見つめ、社会や未来と向き合うための力を育むことを目指しています。



## 5.親塾

親塾事業は、子どもに対する理解を深め、親子関係を見直すための支援プログラムです。子育てに嫌悪感を抱いたり、子どもに対して諦めの気持ちを抱いてしまったりする親たちが、家庭での関係性を根本から改善することを目指しています。

1

### 本音を語れる場の提供

この親塾では、親たちが自分の子どもと同世代の若者と直接話をするすることで、子どもたちの本音や考えに触れる機会を提供しています。

2

### コミュニケーションの深化

これにより、親たちは「子どもとどのように向き合うべきか」「子どもにはどんな気持ちや悩みがあるのか」といった視点から、自身の子育てを見つめ直すことができます。

3

### 健全な関係構築

親塾事業を通じて、親が自身の子どもに対する理解を深め、

これまでの親子関係を見直す契機を提供することで、健全で温かい家庭環境づくりを支援しています。

事業内容の紹介

## 6. イベント事業

子供たちが主体的に企画・運営に関わるイベントを通じて、社会貢献の経験を提供する取り組みです。この事業では、収支計画を明確にしたうえでイベントを実施し、食品提供も含めた多様な内容を予定しています。子供たちがイベント運営に携わることで、**責任感や協力の大切さを学ぶ機会を提供します。**

また、このイベント事業に関連して、生活困窮者やひとり親家庭などを支援する「**ペントリー事業**」も実施予定です。これは一般に「**フードパントリー**」と呼ばれ、無料で食料を提供する取り組みであり、地域社会の支え合いを促進します。

これらの事業を通じ、ゆめいくは子供たちが主体となりながら、社会のさまざまな課題に取り組む場を提供し、**共助の精神を育んでいきます。**



事業内容の紹介

## 7.相談事業

社会的孤立や家庭内問題、経済的困窮など、多様な課題に直面している生きづらさを抱えた子どもや若者を支援するための窓口として機能しています。この事業では、相談員が適切なサポートや外部機関への連携を提供します。

また、相談者が安心して話せる場を提供することで、彼らの抱える悩みや不安を共有し、解決に向けた一歩を踏み出すサポートを行います。

対面相談のほか、電話やオンラインを通じた相談窓口も設け、多忙な生活の中でも利用しやすい体制を整えています。

さらに、子どもや若者だけでなく、保護者や教育者などの支援者向けの相談にも対応し、課題の根本的な解決を目指します。

本事業の目標は、相談を通じて個々の力を引き出し、社会的な孤立を防ぐこと、そして必要なリソースやネットワークへのアクセスを確保することです。ゆめいくは、こうした活動を通じて、子どもや若者が自分の未来を築き、社会の中で自立していける環境づくりを目指します。

# メディア注目の取り組みー

【更新2024.12.17】 ゆめいく記事一覧

1

12月6日公開 弁護士ドットコム

内容：能登ボランティア

URL：[https://www.bengo4.com/c\\_18/n\\_18211/](https://www.bengo4.com/c_18/n_18211/)

2

12月14日 おたくま経済新聞

内容：芋掘り体験

URL：<https://otakuma.net/archives/2024121404.html>

3

12月15日公開 弁護士ドットコム

内容：芋掘り体験

URL：[https://www.bengo4.com/c\\_18/n\\_18229/](https://www.bengo4.com/c_18/n_18229/)

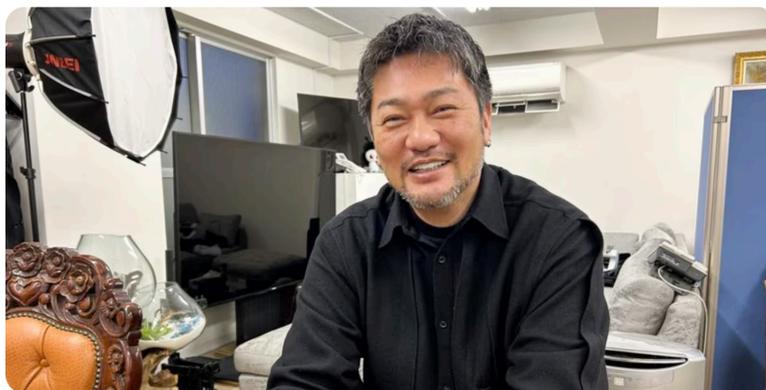


能登半島地震の被災者の話を聞くトー横キッズら（提供写真）

トー横キッズが見た能登半島「僕たちと似ている部分がある」  
居場所を失った被災者に自らを重ね

2024年12月08日 08時07分

#能登半島地震 #トー横キッズ #ボランティア #震災復興



天野将典さん（波井哲也撮影）

トー横キッズが芋掘り、歌舞伎町の外の世界に「触れさせたい」  
新支援団体の代表が掲げる「裏テーマ」



波井哲也

2024年12月15日 08時54分

#オーバードーズ #歌舞伎町 #トー横 #トクリュウ

Xで話題になった「芋掘りするトー横キッズ」 意外な「トー横キッズ」 意外な組み合わせの裏側を探る

update：2024/12/14 18:00

インターネット

歌舞伎町, 農業



のどかなサツマイモ畑と、私服姿の若者たち。一見すると何の変哲もない、農業体験の様子をとらえた動画が、先日、Xで話題になっていました。

# 寄付で支援する



**【ゆめいく口座情報】**

**楽天銀行 第四営業支店（254）普通 7610809 ザイ）ユメイク**

すべての子どもたちに安心できる環境と学びの機会を届けるため、ゆめいくは支援活動を行っています。家庭の事情や社会との距離によって、必要な経験を得られない子どもたちに、新たな選択肢と成長の場を提供しています。

あなたの支援が、子どもたちの未来を切り拓く力になります。  
継続的な支援、寄付、物品の提供など、さまざまな方法でご協力いただけます。  
あなたの温かい支援が、子どもたちの夢を育む力になります。ご不明点はお気軽にお問い合わせください。

# お問い合わせ



住所	東京都日本橋浜町2-60-3グローリー日本橋101
電話番号	03-3664-5551
メール	<a href="mailto:info@you-make.org">info@you-make.org</a>
ホームページ	<a href="https://you-make.org">https://you-make.org</a>